

WAKAYAMA

和歌山県文化情報誌 ワカピー

関西から

文化力
POWER OF CULTURE

2014年
1・2月号

Vol. 53

Wakayama Culture and Arts **POWER**

和歌山伝説の風景を訪ねて 紀伊田辺に伝わる 武蔵坊弁慶 伝説

Contents

- アーティストメッセージ…2
- 和歌山県文化表彰受賞者…3
- イベントガイド…4・5
- 和歌山伝説の風景を訪ねて…6
- 輝く、和歌山人…7
- カルチャーインフォメーション…8

武蔵坊弁慶の出生地とされる田辺市には、父である湛増ゆかりの闘雞神社をはじめ、数々の史実を物語るスポットが点在しています。

artist message

アーティスト メッセージ

Profile

ジャズピアニスト
岸ミツアキさん
ぎし みつあき



1961年生まれ。「平成19年度・和歌山県文化表彰／文化奨励賞」受賞。1997年以降リーダー・アルバムは14作、うち3作が「スイングジャーナル誌・選定ゴールドディスク」を獲得。1999年から自己のグループでアメリカ、ドイツ、ロシア(5回)、キルギス共和国(2回)、カザフスタン共和国など数々の海外公演を行っており、国内でもアメリカより招いた著名アーティストと共演するなど、常にグローバルに活躍している。最新リーダー・アルバム「ラヴ・アット・ファースト・サイト」(ニューヨーク録音)は故ジョージ・シアリングを長年支えた名手ニール・スウェインソン(bass)とカウント・ペイシー・オーケストラのリーダーでもあるデニス・マックレル(drums)との共演作。<公式ホームページ> <http://www.kishijazz.com>

スインギーでジャジーな大人のひとときを、「お洒落なピアノ・トリオで音(おと)どけします」

3月20日(木)に和歌山県民文化会館で開催される「熊野古道世界遺産登録10周年記念コンサート」に和歌山県出身のジャズピアニストの岸ミツアキさんが登場します。世界を駆ける岸さんに、コンサートへの思いをお聞きしました。

Q ジャズピアニストを目指したきっかけは何ですか？

A 音楽の環境には恵まれた家庭に育ち、小学生の頃からピアノを弾いていました。中学のころでしょうか。NHKのテレビで流れる素晴らしいピアノの音色に惹きつけられました。それが、ジャズピアノの巨匠オスカー・ピーターソンだったのです。それ以来、夢中でピアノを弾き続けて、今日に至っています。

Q 数々の海外公演を行っているとお聞きしていますが、印象に残ってる地域



やエピソード等をお聞かせください。

A なんといっても、1999年8月に、アメリカ西海岸の名門ジャズフェスティバル「コンコード・ジャズ・フェスティバル」に出演したことです。ローズマリー・クルーニー、カウント・ペイシー・オーケストラ、マンハッタン・トランスファー等と同じステージに立ったのですから。ロシアやカザフスタンでは、音楽を通じて国際親善のお役にたて、ジャズって素晴らしいなど改めて思いました。

Q いつもステージで心がけていることはありますか。

A “音”に魂を注入して血を通わし、生きた音楽にすることはいつも心がけています。トークも大切だと考えています。曲の解説なども分かりやすく面白く話せればいいなと。

Q 今回のステージの見どころはどのようなところでしょうか？

A ふるさと和歌山を意識した初めてのステージになると思います。高野や熊野をジャズでイメージした曲を披露するつもりです。橋本市生まれなので高野山にはよく行きました。ただ熊野は行ったことがないので、近い内に歩いてみて、イメージと重ねたいと思っています。また、和歌山県民歌をアレンジして、紀の川市の歌手・宮本静さんの歌と共にオープニングをします。そして、私のアルバム“ジャズ抒情歌”から「毬と殿さま」など和のテイストを盛り込んだ構成にしたいと思っています。もちろん、アメリカのスタンダード曲をはじめ、映画音楽などもジャズ・アレンジで音(おと)どけします。スインギーでジャジーな大人のひとときを、お洒落なピアノ・トリオでお楽しみください。

Q これからの活動の抱負をお願いします。

A ともかくジャズ・ピアノを弾き続けていくことだけを考えています。その結果、世界の各地で演奏ができればこんな幸せなことはありません。また、今回のコンサートを機に、和歌山のいろんなところで演奏することができれば、とても嬉しいことと思っています。

3/木
20

熊野古道世界遺産登録10周年記念コンサート 岸ミツアキ おしゃべり&ジャズピアノコンサート

スインギーでジャジーな大人のひとときを、おしゃれなピアノ・トリオで音(おと)どけします。

- 開演／午後6時30分(開場午後6時)
- 場所／和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料／前売2,500円、当日3,500円(全席自由)
- お問い合わせ/和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331



和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



平成24年度 和歌山県文化奨励賞



作曲家

北浦 恒人(きたうらつねと)さん

昭和34年生、和歌山市出身。愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻を卒業後、同大学大学院音楽研究科作曲専攻を修了。森川隆之、保科洋諸氏に師事。平成3年日本交響楽振興財団第13回作曲賞入選、同11年「和歌山市民の歌」優秀賞、同17年日本歌曲振興会第15回日本歌曲コンクール作曲部門優秀賞を受賞。優れた作品を発表し、後進の育成にも尽力。



「小さい頃は音楽があまり得意な子どもではありませんでしたよ(笑い)」。そう話すのは、作曲家としてだけでなく、作曲家集団PORTの代表として作曲活動を広く紹介する機会を創出しているほか、愛知県立芸術大学や名古屋芸術大学で講師を務めるなどして、後進の指導にも力を尽くす北浦恒人さん。現在、愛知県の在住ながら、「和歌山市民の歌」や混声合唱組曲「紀の川」の編曲など、故郷である和歌山の文化活動にも寄与しています。

本格的に音楽と触れ合ったのは、小学校3年生の時。児童合唱団の研

究生から始まりました。アイドルの音楽を聞くように、チャイコフスキーを聞きまくっていたという中学時代。当時、作曲家の森川隆之氏に、指揮者になりたいと相談したのが、きっかけだったと言います。

「指揮者は曲の成り立ちを知ることが重要だと、ピアノと作曲を森川先生から学びました。中学3年生の時ですね。そこで作品を通して伝えたい思いがあふれだし、作曲家を目指すようになりました」。

常に北浦さんがテーマとするのは“心を感動させる音楽”。ほっとしたり、落ち着いたり、興奮したり、涙ぐんだり

りと、感動にはいろいろな種類があります。そんな心が動く瞬間を音楽でつくり、きっかけにして感動の輪を広げたいと言います。

北浦さんは、男声合唱団メンネルコア東海の常任指揮者としても活躍。

岡崎女子大学では、子ども教育における音楽の在り方を指導。“保育士、幼稚園教諭養成において、短期間で基礎音楽力が向上する教材の研究”と“こどものためのピアノ音楽作品の創作と研究”をテーマにしています。

「大事なことはやはり感動すること。教育者の“楽しい”が子どもたちに音楽の素晴らしさを伝えることになるからです」と、いつの時も感じることの大切さを教えてくれました。



2013年に開かれた男声合唱団メンネルコア東海の演奏会の様子



北浦さんの作品を一冊にまとめた子どものためのピアノ曲集「虹の花束」が、カワイ出版から発刊されました。全12曲。美しいメロディーラインと心地よい音の運びが、聞く人の心を癒します

人気のある『貸会議室』 3時間1,500円～ 当日予約もOK!

今年4月にリニューアルオープンした県民文化会館には、年間20万人以上の方に利用される人気の貸会議室があります。人気の秘密は、集客のしやすさ&リーズナブルなお値段。更に、無料で使えるインターネット環境を全室に整備。大・小 23室ある会議室は、18名～120名の利用が可能で、研修や説明会、面接・試験会場として大活躍しています。是非、一度ご来館ください! 県文ホームページから空室状況確認&インターネット予約OK!



5F大会議室

■お問い合わせ/和歌山県民文化会館 TEL073-436-1331
476台収容の県文有料駐車場あり(40分100円/24時間800円)

1/12

「おかあさんといっしょ」ポコポッテイトがやってきた!!

子どもたちに大人気のキャラクター“ムテ吉・ミーニャ・メーコフ”とひなたおさむさん、瀧本瞳さんが繰り広げる歌や踊り、そして楽しいゲームなど会場が一体となって盛り上がる「わくわくステージ」です。

- 開演 / ①午後1時(開場午後0時30分)
②午後3時30分(開場午後3時)
- 場所 / 和歌山県民文化会館大ホール
- 出演者 / ムテ吉、ミーニャ、メーコフ、ひなたおさむ、瀧本瞳
- 入場料 / 2,000円(全席指定)



©NHK

1/14

NEW YEAR 2014 ウィンナー・ワルツ・オーケストラ
～宮殿祝賀コンサート～

- 開演 / 午後6時30分(開場午後6時)
- 場所 / 和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料 / S席5,000円、A席4,000円(全席指定)
※各席とも学生は1,000円割引
- 出演(予定) / 指揮者 サンドロ・クトゥレーロ
管弦楽 ウィンナー・ワルツ・オーケストラ
ソプラノ、バレエダンサー4名
- プログラム(予定)
ヨハン・シュトラウス2世 美しき青きドナウ
ヨハン・シュトラウス2世 皇帝円舞曲
ヨハン・シュトラウス2世 トリッチ・トラッチ・ポルカ
ヨハン・シュトラウス1世 ラデッキー行進曲
ヨハン・シュトラウス2世 雷鳴と雷光 ほか

エンターテインメントのツボを心得た名物指揮者のサンドロ・クトゥレーロが工夫を凝らし、観客を楽しませてくれる「ニューイヤール・コンサート」は、「聴いて楽しく、見て楽しい」コンサートです。管弦楽の演奏から、気品溢れる歌あり、バレエダンサーによる踊りで、きらびやかなウィーン舞踏会の世界へ皆様をご案内いたします。



ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

日本でもすっかり馴染みのサンドロ・クトゥレーロにより、宮殿での祝賀コンサートを機に1990年に設立された。クトゥレーロ氏の「ワルツへの愛と情熱」に賛同した才能溢れる演奏家が彼のオーケストラに参加。オーケストラは約25名の弦・木管・金管・打楽器により構成され、さらに曲によって数名のバレエ・ダンサー、歌手が登場。楽しい踊りと美しい歌声が雰囲気盛り上げ、ウィナーワルツをより楽しませてくれます。



サンドロ・クトゥレーロ(指揮者)

1961年、イタリアのトロペアに生まれる。1980年、ローマのサンタ・チェチーリア国立音楽院においてセルジオ・ベルティカローリにピアノを師事。その後、ローマ大学で政治哲学を専攻し、優秀な成績で博士号を取得、1985年よりウィーンに移り、ピアニスト、作曲家および指揮者として精力的に活動している。



1/17

ワンコインコンサート Vol.2

河毛博子&オオサカン・ブラス・クインテット

魅惑の金管五重奏～トロンボーン、トランペット、ホルン、チューバの競演～

ワンコインで気軽に楽しめるクラシックコンサートを開催します。

■プログラム(予定)

あまちゃんオープニングテーマ、魔女の宅急便、他

- 開演 / 午後6時(開場午後5時30分)
- 場所 / 和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料 / 500円(全席自由)



河毛 博子(がもう ひろこ)

1/19

和歌山ジュニア芸能祭

青少年の舞台芸術活動の発表機会を提供することを目的に開催します。

- 開演 / 午後1時(開場午後0時30分)
- 場所 / 和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料 / 無料(整理券)

- 出演団体 和歌山市立日進中学校合唱部
和歌山市立真志中学校合唱部
和歌山市立明和中学校合唱部
和歌山県立日高等学校管楽部
りら創造芸術高等専修学校(タップダンス他)
スタジオ ぼこ・あ・ぼこ(タップダンス) (順不同)

1/火
28平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
新国立劇場バレエ団 クラシック・バレエ ハイライト2014

何度でも観たい古典バレエの傑作、チャイコフスキーの「白鳥の湖」から第2幕を。高度な技で魅了する華やかな作品を新国立劇場バレエならではのハイクオリティな演出でお届けします。

- 開演/午後7時(開場午後6時30分)
- 場所/和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料/3,000円(全席指定)



■プログラム

第一部「パ・ド・カトル」、「アリアのための序曲」、「ドン・キホーテ」第3幕よりグラン・パ・ド・ドゥ

第二部「白鳥の湖」第2幕

古典バレエの代名詞ともいえる名作。チャイコフスキーの哀切に満ちた曲想にのせて白鳥に変えられたオデット姫と王子の恋を描きます。第2幕は王子がオデット姫に会う場面。悪魔ロートバルトによって白鳥に変えられたオデットたちは、夜だけ人間の姿に戻ることができます。王子は気高く美しいオデットの哀しい身の上を聞き、彼女を魔法から解くために愛を誓います。王子とオデットのパ・ド・ドゥ、有名な4羽の白鳥、また新国立劇場バレエ団ならではの整然と美しく揃った白鳥の群舞など見どころはつきません。

2/土
15第8回和歌山県民俗芸能祭
特別企画公演 熊野・高野の民俗芸能

第8回和歌山県民俗芸能祭は、特別企画公演として「那智の田楽」と「花園の仏の舞」の2演目で開催します。



■那智の田楽(なちのでんがく)
那智田楽保存会(那智勝浦町)
ユネスコ無形文化遺産
国指定重要無形民俗文化財



■花園の仏の舞(はなそのほのけのまい)
花園郷土古典芸能保存会(かつらぎ町)
国選択無形民俗文化財

- 開演/午後1時(開場午後0時30分)
- 場所/和歌山県民文化会館小ホール
- 入場無料/整理券(1月14日(火)から整理券配布)
- 郵送による申し込み方法/往復はがきの往信面に民俗芸能祭観覧希望と明記し、住所氏名希望人数(1枚あたり3人まで)を明記の上、下記へお申し込みください。2月8日(土)消印有効
- 申し込み先/640-8269 和歌山県民文化会館内 民俗芸能係
TEL.073-436-1331

関連企画

那智の田楽・花園の仏の舞にちなむ パネル展示

- 期間/2月13日(木)~16日(日)
- 場所/和歌山県民文化会館 特設展示室
- 無料

お話し 熊野・高野の民俗芸能

- 講師/蘇理剛志(県文化遺産課)
- 日時/2月14日(金)1回目12:30~13:10
2回目14:30~15:10
- 場所/和歌山県民文化会館 特設展示室
- 参加無料

2/日
23和歌山県新人演奏会出演者による
第8回音の杜コンサート

- 開演/午後2時(開場午後1時30分)
- 場所/和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料/一般1,000円、高校生以下500円(全席自由)

このコンサートは和歌山県新人演奏会出演後も演奏活動を継続され活躍中の方々によるもので、誰もが気軽に聴けるクラシックコンサートです。

- ピアノ/坂西涼(橋本市出身)第41回和歌山県新人演奏会特別奨励賞受賞
- チューバ/坂本健斗(橋本市出身)第40回和歌山県新人演奏会奨励賞受賞
- ピアノ/浅田陽子(串本町在住)第40回和歌山県新人演奏会奨励賞受賞
- 声楽/杉原 藍(海南市出身)第40回和歌山県新人演奏会奨励賞受賞

3/日
2

けんぶん寄席 笑福亭福笑&牧宥恵

- 開演/午後2時(開場午後1時30分)
- 場所/和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料/前売2,500円、当日3,500円(全席自由)
- 出演/笑福亭福笑、牧宥恵、笑福亭たま

上方落語を代表する笑福亭一門の中から笑福亭福笑師と同師と親交の深い、岩出市在住の画僧でありコラムニストでもある牧宥恵師の出演による落語とトークショーをお楽しみください。

■笑福亭福笑(しょうふくていふくしょう)

六代目笑福亭松鶴に入門、笑福亭仁鶴・鶴光に次ぐ高弟。松鶴一門の中では爆笑派で、古典落語・新作落語の両方を得意としている。

■牧宥恵(まきゆうけい)

日大芸術学部を中退し、美学校細密画工房を経て図鑑等の細密画の世界に身を置け、独学で仏画の独習に専念する。1978年根来寺境内に画房を構え、以降、伝統仏画と三昧画の制作にあたる。同時に、個展、講習会、和歌山放送DJ、カルチャーセンターの講師など、多彩な活動を行っている。

闘雞神社／源氏と平氏の双方より援軍を要請された弁慶の父・湛増が、神意を確認するため、本殿の前で赤を平氏、白を源氏に見立てて紅白7羽の鶏を闘わせたことが名前の由来



弁慶像／JR紀伊田辺駅前には堂々と佇む弁慶像は昭和46年に造られました。また田辺市役所前には6代目弁慶松が植えられています

紀伊田辺に伝わる 武蔵坊弁慶伝説

和歌山県中南部に位置する田辺市は、源義経の片腕である武蔵坊弁慶の故郷といわれています。JR紀伊田辺駅に降り立つと、薙刀を構えた勇ましい姿の弁慶像が出迎えます。

そもそも弁慶は、熊野別当湛増の嫡

子で、幼名を鬼若といった記述が「義経記」にあり、これが田辺出生説の有力な裏付けとされています。町には、弁慶生誕の地から産湯の井戸、幼少の頃に腰をかけたとされる腰掛石など、史実を物語るスポットが点在。

中でも有名なのが、駅から歩いて10分程の「闘雞神社」。源平合戦の際、弁慶の父・湛増がどちらに味方するのか神意を問う鶏（雞）合わせの神事が行われたと伝えられ、弁慶産湯の釜や義経の笛などが、社宝として展示されています。

和歌山 伝説の風景を訪ねて

和歌山県内に残されている数々の伝説の舞台を訪ね、その物語をシリーズで紹介します。

▶訪ねた場所 **【田辺市】** WAKAYAMA Legendary Scenery TANABESHI

伝説のあらすじ

弁慶の物語は歌舞伎や浄瑠璃などでたびたび上演される人気の演目。怪力無双の荒法師で、五条橋での義経との出会いや仁王立ちで大往生を遂げるという逸話が語り継がれています。

田辺市に生まれたとされる弁慶は、幼少の頃、比叡山に入山。修行後、武蔵坊弁慶と名乗り、四国や播磨国へ。その後、京都で義経と出会います。千本の太刀を奪おうと悲願を立て、あと1本というところで義経に遭遇しますが、かなわず返り討ちに遭います。降参した弁慶はそれ以来、主従の契りを結び、忠実な部下として平家討伐に功名を立てたといわれています。



- ① 湛増と弁慶の像／闘雞神社の境内に佇む湛増と弁慶の親子像。紅白の鶏を戦わせ、熊野水軍がどちらに付くべきかの神意を問う、鶏（雞）合わせの神事を見守っている様子が再現されています
- ② 弁慶産湯の釜／闘雞神社の宝物として展示されている釜。弁慶出生の時の産湯を沸かしたものとされています
- ③ 横笛（銘白龍）／弁慶が仕えた源義経鍾愛の横笛。享和元年、紀伊田辺藩主・安藤道紀（あんだうのりみち）によって奉納されました
- ④ 弁慶の腰掛石／闘雞神社から徒歩約15分の八坂神社にあり、幼少期の弁慶が石に座ってお尻の形のくぼみができたとか
- ⑤ 田辺市観光センター／JR紀伊田辺駅前にオープン。市内にある弁慶の史跡の情報も教えてください

DATA ●田辺市観光振興課 ☎0739-26-9929

輝く、和歌山人

和歌山県内をフィールドに、文化、スポーツなどあらゆるジャンルで活躍する人を紹介します。



広川町語り部サークル代表
崎山 光一さん KOITI SAKIYAMA

PROFILE

さきやま・こういち
●広川町教育委員会を退職後、平成16年から広川町語り部サークルの代表に就任。安政南海地震の際、稲むらに火を放ち、津波から村人の命を救った濱口梧陵の功績と教訓を語り部として伝承。「稲むらの火の館」でのガイダンスや散策ガイドも実施しています。



「濱口梧陵の偉大な功績と教訓を伝える津波防災教育」

—「広川町語り部サークル」のメンバーたちの顔ぶれを教えてください。

崎山 ● 発足したのは平成16年4月頃。10人ほどからスタートし、現在は16人程度。50代から70代まで、職業も性別も様々です。ただ生粋の広川っ子ばかりではなく、町外出身の人たちもいます。みんなきっかけは、もっと自分たちが住む町のことを知りたいという思いでした。

—活動のテーマを教えてください。

崎山 ● 「稲むらの火」と濱口梧陵の功績を後世へ伝えること。今の人は、平成16年のスマトラ島沖大地震が起こるまで、津波というものを見たことがなかったと思います。そして平成23年3月の東日本大震災。この時、私たちは津波の本当の恐ろしさを知りました。その危機感が全国に広がり、平成23年度は語り部のガイド数が300件以上に。学校関係者以外にも、地域の

防災担当者、専門家などが訪ねてきます。今、この時に、梧陵の偉大な功績と教訓を、命と暮らしを守るために伝えていきたいと、メンバーが一丸となって知識と経験を磨いています。

—そもそも濱口梧陵と稲むらの火とは。

崎山 ● 1854年11月5日、安政の南海地震による津波がこの広川町を襲いました。この時、梧陵は積み上げた「稲むら」に火を放ち、暗闇で逃げ遅れた人々を高台へと誘導。さらに村の復旧と復興のため、被災者に住まいを提供し、さらに多額の私財を投じて堤防建設を行いました。平成23年6月には、11月5日が「津波防災の日」と定められ、小学5年生の国語の教科書には梧陵の伝記が掲載。64年ぶりに復活し、各学校で授業を通し、津波防災の教育が行われるようになりました。

—活動を通じて伝えたいことは何ですか？

崎山 ● いつ、どこで天災に巻き込まれるか、それは誰にも予測が付きません。だからこそ、一つだけ覚えておいてください。海辺にいる時に地震が起こったら、一刻も早く、自分の足で高台へ。知らない場所でも、地震は起こりえます。家と違って万全に備えることはできなくても、足を使って逃げることは忘れないでいてください。



濱口梧陵の功績が学べる

広川町語り部サークルでは濱口梧陵歴史探検ウォークを実施(要予約)。津波防災教育センターでもある「稲むらの火の館」に集合し、梧陵の功績が残る広村堤防や耐久社などを訪ね歩きます。申し込み ☎0737-64-1760(同館)

和歌山県 民俗芸能

花園の仏の舞

かつらぎ町

— 龍宮の乙姫を仏の道に迎える、独創的な舞

今からおよそ1000年前の平安時代末期にかつらぎ町花園に伝えられた芸能で、女人成仏をテーマとした全国でもめずらしい仮面劇です。文殊菩薩が龍宮に渡り、龍王たちと問答の末、教化の舞(仏の舞)を見せます。かつて女性は「五障三従(ごしょうさんじゅう)の障り」があり、成仏することは大変難しいと言われて

ました。しかし法華經の教えにより、成仏できると説き、龍宮の乙姫を仏の道に迎えるという物語です。

遍照寺の境内で数十年に一度しか奉納されないため、幻の舞とされてきましたが、花園郷土古典芸能保存会によって約20年に1度奉納されています。平成26年2月に久しぶりに舞を見ることができました。



写真：和歌山県教育委員会提供

カルチャーインフォメーション

万葉館

☎073(446)5553

万葉洋画展

■1月17日(金)～3月30日(日)

地元和歌山で洋画を描き続けている江川重信氏他9名が、万葉集に詠まれた風景や草花、また和歌山の風景を油絵で表現した作品を展示します。



☎和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎9:00～17:00 休無 入館無料

和歌山県立博物館

☎073(436)8670

企画展「仮面の諸相 —乾武俊氏の収集資料から—

■開催中～1月19日(日)

詩人であり、民間仮面に注目する民族文化研究者でもある乾武俊氏が収集した仮面を展示し、その多様な造形と魅力に迫ります。

企画展「文化財のこぼれなまえ」

■1月25日(土)～3月2日(日)

当館に展示している文化財をわかりやすい言葉で説明。そのポイントを押さえることで和歌山の文化財をもっと身近に感じてもらえます。



(桃文様陣羽織)
紀州東照宮蔵

☎和歌山市吹上1-4-14 ☎9:30～17:00 休月曜(祝日の場合は次の平日)
☎一般280円、大学生170円

和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

冬期企画展「馬」

■開催中～2月9日(日)

新年の干支にちなんで「馬」に関する考古資料・民俗資料を展示。岩橋千塚古墳群から出土した馬形埴輪や馬具などを通し、古墳時代の人々と馬の関わりについて紹介します。また、絵馬や馬の郷土玩具も展示します。



☎和歌山市岩橋1411 ☎9:00～16:30 休月曜(祝日の場合は次の平日)
☎一般190円、大学生90円

和歌山県立近代美術館

☎073(436)8690

「物質(モノ)と美術」

■開催中～2月11日(祝・火)

美術作品を構成する物質は作品の素材であるだけでなく、作品がそうあるために必要な理由でもあります。物質という側面から作品について考える展覧会です。



「物質(モノ)と美術」展 小清水漸《花・赤い》1986年

☎和歌山市吹上1-4-14 ☎9:30～17:00 休月曜(祝日の場合は次の平日)、
年末年始(12月29日～1月3日) ☎一般500円、大学生300円

和歌山県立自然博物館

☎073(483)1777

クイズで楽しむ自然博物館!

■2月9日(日) 9:30～17:00

自然博物館内の展示物や展示パネルをじっくり見ればわかるクイズを30問出題、意外な発見や驚きがぎと見つけられます。全問正解して「自然博物館クイズマイスターの証」をget!



- 募集対象/小学生以上
- 費用/無料(別途入館料が必要)
- 用意するもの/筆記用具、下書きなど
- 参加申し込み/開催日当日に自然博物館にて受付

☎海南市船尾370-1 ☎9:30～17:00 休月曜(祝日の場合は次の平日)
☎一般460円

郷土の歴史と文化が学べるスポット

県内の郷土の歴史と文化が学べる施設をシリーズで紹介いたします。

温故伝承館

☎平日/073(482)0005 土・日・祝/073(482)1115

昔の酒づくりが実感できる数々の道具を展示

生活文化としての酒づくりの姿と心を伝えるため、もと(酒母)の製造場であるもと場や土壁、むしろ、竹でできた麴室(保温室)の復元など、清酒製造には欠かせない道具類を展示しています。また隣接する黒牛茶屋には喫茶・きぎ酒コーナーも設置されています。



☎海南市黒江846 ☎10:00～17:00 休12月31日～1月3日
☎大人400円、小人100円(中学生以下)

きのくに合唱セミナー

次世代を担う青少年の合唱文化の向上を図ることを目的に開催します。合唱の基礎から始め、分りやすい指導などで役立つヒントが盛りだくさんです。

- 講師/原盾二郎(関西合唱連盟顧問)
- 対象/和歌山市内中学生
- 参加料/無料
- 日時/1月11日(土)午後1時30分
1月25日(土)午後1時30分
2月9日(日)午前9時30分
- ※会場はいずれも男女共生推進センター内6F多目的ホール



■お問い合わせ/(一財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331

年のはじめに

あけましておめでとうございます。昨年、オリンピック招致活動で滝川クリステルさんの「おもてなし」というスピーチが日本社会に根付く歓待の精神として多くの人の心をつかんだのではないのでしょうか。当財団にとりましても来場者の方に「おもてなし」の気持ちで応対できますよう日々精進して参りたいと存じます。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

WAKAYAMA

和歌山県文化情報誌 **ワカビー** Wakayama Culture and Arts **POWER**

【発行日】平成26年1月

【発行】和歌山県

【編集・問い合わせ】一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp